

## 令和4年度 狹山市環境審議会 会議録

開催日時 令和5年3月15日（水） 午後2時00分～午後3時30分

開催場所 入曽地域交流センター2階 小ホール

出席者 近藤委員、相澤委員、西山委員、山下委員、片田委員、廣中委員、大貫委員、  
井上委員、堀木委員、仲川委員、堀江委員、三木委員、安永委員

欠席者 関根委員、中津川委員

市出席者 神田環境経済部長、小林資源循環推進課長、北田奥富環境センター所長（稻荷山環境  
センター所長兼務）、當麻みどり公園課長、佐藤環境課環境保全担当主幹、星環境課  
生活衛生担当主査

事務局 久保田環境経済部次長（環境課長兼務）、奥富同課主幹、工藤同課主任

傍聴者 なし

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 環境審議会委員及び事務局職員等の紹介
- 4 議事
  - (1) ゼロカーボンシティへのとりくみについて（公開）
  - (2) その他（公開）
- 5 閉会

〈質疑応答・意見〉

- (1) ゼロカーボンシティへのとりくみについて

委員 ダイアプランの取り組みについて、教えていただきたい。

説明者 プロジェクトチームを立ち上げ、啓発事業として、小中学生を対象に、環境ポスターコンテストを実施したり、職員研修などを行った。また各市の特徴として、狹山市は、5市の中では、高い産業集積を活かした企業活動や豊かな雇用環境がある反面、産業部門による二酸化炭素の排出量が市域全体の50%を超えているという特徴を持っている。所沢市は、地域新電力を立ち上げ、再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでおり、飯能市は、森林が市域の75%を占めおり、二酸化炭素の吸収源として森林保全をしている。入間市は、官民の共同体を設立し、市内の連携体制の構築に取り組んでおり、電気自動車のカーシェアリング事業を開始した。日高市は、市内事業者と連携し、ごみのリサイクル率がほぼ100%であるという特徴がある。

委員 食品ロスの削減とセーフティーネットを目的として、フードドライブを市職員対象に月1回、年12回実施していただいて非常にありがたい。今後も継続して欲しい。

委員 ごみを減量し、資源化するなかで、雑紙を大事にしようという取組を広報誌にとりあげてもらった。今、いらなくなったポスターで紙袋を作ろうという講座を考えている。企業等でいらなくなったポスターがあったら提供して欲しい。

委員 狭山市のナラ枯れ被害について教えていただきたい。

説明者 公園と緑地のナラ枯れ被害について、令和3年と4年の2年間でそれぞれ約430本伐採した。安全面を考慮し、園路などの危険個所から優先的に伐採をしている。今のところナラ枯れ被害を止める解決策は見当たらないが、市民の安全安心のため、今後も予算を投じて伐採を行っていく。

委員 農業分野では、化学肥料を使いすぎており、有機質に改善していきたい。

委員 生ごみからたい肥を作り、そのたい肥で市民が農業を支えていくという考えは？

説明者 市民が提供するたい肥は成分が安定しないので難しいが、生ごみリサイクルをやることで、生ごみが減ってきている効果はある。

委員 ゼロカーボンシティへのとりくみについて、経済と環境の両立や施策と費用の分配は自分で努力しているが難しい。本日聞いた狭山サステナビリティトランスフォーメーション（SSX）については、企業として今後協力していきたい。

委員 企業として、食品リサイクルについて、グループ全体で20パーセント削減の目標を立てている。また、各部署がそれぞれ効率よく利益を出す目標を立てている。残業をしないなど、小さな取組からエネルギーの削減に取り組んでいる。

## 会議資料

### （配布資料）

- 狭山市環境審議会委員名簿
- 環境経済部等職員名簿
- ゼロカーボンシティへのとりくみについて
- 狭山市環境活動団体紹介
- 中学生環境作文コンクール入賞作品集

### （手持ち資料）

- 2022年度版 狭山市環境レポート